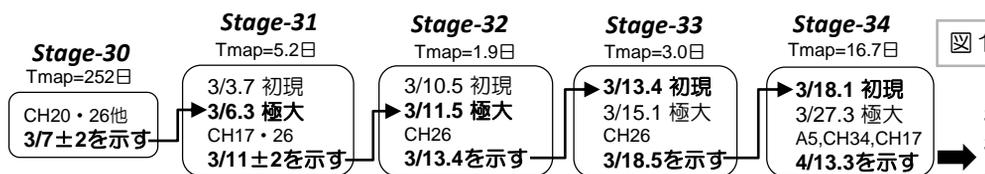


※首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、No1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。No1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。No1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024.1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましては、2023.12/31の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様に配信し、地震発生に間に合いました。No1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模M6.1±0.5、海深補正M0.9±0.3、推定規模M7.0±0.5）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大型地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

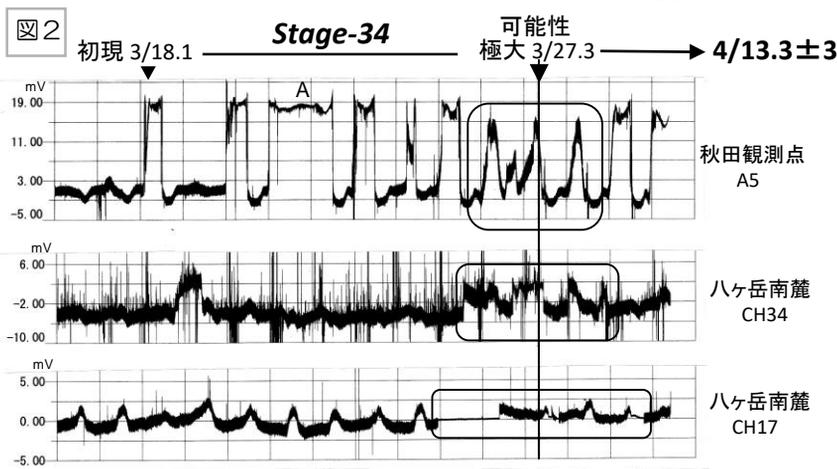
No1778 長期継続前兆 Stage-34 A5変動静穏化せず継続中 再検討
A5・CH17・CH34 → 3/27.3 極大の可能性 → Stage-34 は 4/13を示す

※No1778は地震発生が推定された時期（通常の場合は地震発生）に次の極大や初現が出現し次Stageに移行する現象が17年8ヶ月の間に30回続いた。数百日単位のStageが本年3月からは数日～10数日単位の同様な変化を示す。



Stage-34 は 4/13 を示す
Stage-35 が出現しなければ、
4/13±3 対応地震発生の可能性

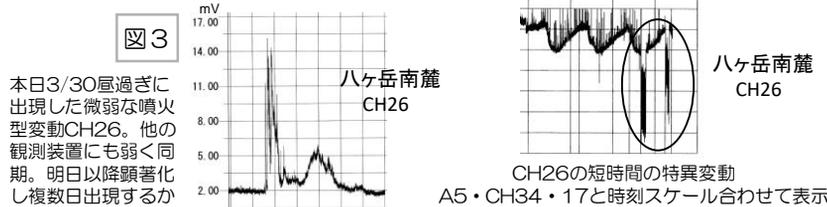
◆前情報では秋田観測点A5の特異変動の3/18.1初現に対し、図2のA5波形のA部=3/21.8を極大の可能性と認識しました。しかし、本日現在もA5の特異変動は継続中で、前述認識では全く経験則に合いません。極大認識が違うことが明らかです。



◆秋田観測点A5、ハケ岳のCH34、17と時刻スケールを合わせて表示（図2）。A5=枠で囲んだ時期の変動が異なるCH34=枠で囲んだ時期に変動が複数出現CH17=枠で囲んだ時期に糸状特異出現全ての枠で囲んだ中心=3/27.3です。

◆上記のとおり、3/27.3を中心に3観測装置に変動があることから、3観測装置の変動は全てStage-34である可能性が考えられます。また3/27.3が極大である可能性が考えられます。仮にStage-34が、初現3/18.1 極大3/27.3である場合には4/13.3±3が示されます。

◆図2の右下CH26に3/29、3/30と2回短時間の特異変動が観測されています。楕円で囲んだ変動。この変動については、確かな認識は困難です。可能性として、①極大後に出現するBT-2と同様な変動で3/27.3極大に対し出現した可能性。②次のStage-35の初現である可能性。の2種が考えられます。明日以降の出現状況で考えていきたいと思ひます。



本日3/30風過ぎに出現した微弱な噴火型変動CH26。他の観測装置にも弱く同期。明日以降顕著化し複数日出現するか観測必要。

CH26の短時間の特異変動 A5・CH34・17と時刻スケール合わせて表示



- 推定領域：図4の点線領域内=大枠推定領域
図4の太線領域内=可能性が考えやすい
図4の斜線領域=火山近傍が考えやすい
- 推定規模： M8.0±0.3
M7.7～8.0の可能性考えやすい
または複合地震

複合の場合はM7以上地震の断層長Lkmが
Log L=0.5M-1.8 (Utsu.)式で110～150km
程度となる様な複合地震活動の可能性
(例：M7.1±0.3+M7.3±0.3等)

- 推定時期：2026年4月13日 ±3 (未確定)
※今後の観測必要。Stage-35出現の場合は、対応地震発生は相当先になる可能性あり。
- 推定地震種：震源浅い日本列島陸域地殻地震
- 推定発生時刻：9時±2 or 18時±3
(複合地震の場合は当てはまらない場合有)
- ※噴火型変動が複数日観測された場合は、対応地震発生に伴い、震央に近い火山で噴火の可能性あり。